

第32回日本嗜癇行動学会 岐阜大会

日時：

【ライブ配信】10月15日（土）～
16日（日）

【オンデマンド配信】大会終了後1
か月程度を予定

テーマ：「ハマル」を科学する。溺
れる脳（こころ）の道しるべとして

プログラム：

【1日目】

講演1「インターネット依存・ゲー
ム障害への予防的アプローチ」中山
秀紀（旭山病院精神科医長）／講演
2「高齢者のアルコール使用障害」
和気浩三（新生会病院理事長・院
長）／講演3「窃盗症の精神科臨床
—常習窃盗者、2,200人の治験経
験から」竹村道夫（赤城高原ホスピ
タル院長）／講演4「性依存症につ
いて」大石雅之（大石クリニック院
長）／講演5「複雑性PTSDが
ICD-11に採用されたことに関する
見解」斎藤学（家族機能研究所所
長）

【2日目】

講演6「専門医療機関における飲
酒量低減薬を使った新たな治療の
実践」天野宏一（各務原病院理事長）
／一般演題発表／市民公開講座／ほ
か

参加費：会員4000円、非会員
5000円、学生2000円

※参加者は全て守秘義務が課せられ
る。

参加登録方法：下記URLから

URL <https://www.jssab32.jp/registration.html>

参加登録期限：10月14日（金）

大会事務局：医療法人杏野会各務原
病院

〒504-0861 岐阜県各務原市東

山1-60

☎ 058-389-2228

✉ jun0914@kakamigahara-hosp.jp

URL <https://www.jssab32.jp/index.html>

第18回日本周産期メンタル ヘルス学会学術集会

日時：

【ライブ配信】10月22日（土）～
23日（日）

【オンデマンド配信】11月1日
（火）～12月1日（木）

テーマ：昔に学び、未来につなぐ
母性のちから—今、日本の母を支え
る

プログラム：会長講演「母性を支え
る看護のちから」常盤洋子（新潟県
立看護大学教授）／招聘講演「出産
の歴史人類学からみえてきた『母性
のちから』—誕生・子育てにかかわ
る人々との協働から考える」鈴木七
美（国立民族学博物館グローバル現
象研究部教授）／特別講演「臨床に
活かす『サークルオブセキュリティ
（安心感の輪）』」安藤智子（筑波大
学大学院人間総合科学学術院教授）
／理事長講演「日本周産期メンタル
ヘルス学会の役割とは何か—退任に
あたり」鈴木利人（順天堂大学教
授、順天堂大学附属順天堂越谷病院
院長）／教育セミナー「不安症」伊
藤賢伸（順天堂大学医学部精神医学
講座准教授）／「パーソナリティ症
（仮）」小林奈津子（東北大学大学院
医学系研究科精神神経学分野助教）
／「精神科医との連携の仕方」竹内
崇（東京医科歯科大学病院精神科精
神行動医科学分野准教授）／「看護
師が行う精神症状のアセスメント」
武用百子（大阪大学大学院医学系研
究科保健学専攻精神保健看護学教

授）／ほか

参加費：会員・非会員1万円、学
生1000円

※学生（大学院生は含まない）は、
学生証または在学証明書を参加登録
フォームに添付

参加登録方法：下記URLから

URL <https://procomu.jp/pmh2022/jizen.html>

運営事務局：株式会社プロコムイン
ターナショナル内 第18回日本周
産期メンタルヘルス学会学術集会運
営担当宛

〒135-0063 東京都江東区有明
3-6-11 TFTビル東館9階

☎ 03-5520-8821

✉ pmh18@procom-i.jp

URL <https://procomu.jp/pmh2022/index.html>

第24回 看護国際フォーラム

日時：10月29日（土）13:00～
16:00

開催形式：オンライン配信

テーマ：With コロナの経験から得
た知見—未来志向で考えるシームレ
スな新人教育のあり方

プログラム：「“オール兵庫”で取り
組むコロナ禍での新人看護師育成」
大野かおり（兵庫県立大学看護学部
在宅看護学教授、兵庫県看護協会第
二副会長）／「看護基礎教育と臨床
ギャップへの架け橋—看護実践への
移行」岩間恵子（米国ペース大学看
護学部基礎看護学助教）／ほか

定員：500名（先着順）

参加費：無料

参加登録方法：下記URLから

URL <https://forms.gle/w9h1cVEbn-s3nabqa6>

参加登録期間：～10月21日（金）

問い合わせ先: 大分県立看護科学大学 看護国際フォーラム担当
〒870-1201 大分県大分市廻栖野 2944-9
☎ 097-586-4300
✉ forum2022@gm.oita-nhs.ac.jp
URL <https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/24th-forum.html>

第 53 回

日本看護学会学術集会

日時: 11 月 8 日 (火) ~9 日 (水)
会場: 幕張メッセ (千葉市美浜区)
テーマ: 変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化

プログラム: 基調講演「変化する社会で求められる看護の役割—地域における健康・療養支援の強化」福井トシ子 (日本看護学会学術集会会長、日本看護協会会長) / 特別講演 1 「未来に向けた看護のパラダイムシフト—深化と拡張」大谷泰夫 / 特別講演 2 「ICT を活用した看護職の新たな活動モデル—地域を基盤とした重症化予防、高度実践看護」森山美知子 (広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学教授) / 特別講演 3 「DX (デジタルトランスフォーメーション) によって、看護の仕事はどう変わるのか」小林史明 (デジタル副大臣兼内閣府副大臣) / ほか

参加登録期間:

【事前参加登録】 ~9 月 28 日

【当日受付】 11 月 8 日 (火) ~9 日 (水)

参加登録方法: 下記 URL から

URL <https://2022makuhari.jnagakai.jp/registration.html>

参加費:

【事前参加登録】 会員 9900 円、非会員 1 万 4850 円、学生 4400 円

【当日受付】 会員 1 万 4850 円、非会員 1 万 9800 円、学生 5500 円

運営事務局: 株式会社幕張メッセ 事業企画課

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

☎ 043-296-0623 (平日 9:00~17:30)

✉ 2022makuhari@jnagakai.jp

URL <https://2022makuhari.jnagakai.jp/index.html>

第 12 回日本在宅看護学会学術集会

日時: 11 月 19 日 (土) ~20 日 (日)
開催形式: 現地会場、オンデマンド配信

会場: 中野サンプラザ 13~14 階 (東京都中野区)

テーマ: 在宅看護のサステナビリティ

プログラム: シンポジウム「8050/9060 時代に求められる在宅看護—複合的な課題を持つ家庭に対して、在宅看護は何かできるのか?」和気純子 (東京都立大学人文社会学部人間社会学科)、梅原悦子 (中野区中野地域包括支援センター)、立石愛 (中野区中部すこやか福祉センター)、福元さくら (中野区中部すこやか福祉センター) / 「地域包括ケアの進化を目指す働き方のサステナビリティ」濱田安岐子 (NPO 法人看護職キャリアサポート)、丸山充帆 (株式会社アオアクア)、田母神裕美 (公益社団法人日本看護協会)、藤野泰平 (株式会社デザインケアみんなのかかりつけ訪問看護ステーション) / 「在宅看護のサステナビリティを高めるためのテクノロジー」亀井智子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)、遊間和子 (株式会社国際社会経済研究所)、小室貴之 (株式会社楓の風)、富樫千代美 (鶴岡市立荘内病院) / 「在宅医療の安全と危機管理—暴

言・暴力に立ち向かう事業所の運営」高村浩 (高村浩法律事務所)、野々内美加 (Langley Mental Health Substance Use Program Fraser Health, BC)、村田直子 (公益社団法人兵庫県看護協会)、原子英樹 (株式会社円グループ) / ほか

大会事務局: ケアプロ株式会社が在宅医療事業部内 第 12 回日本在宅看護学会学術集会運営委員会

〒164-0011 東京都中野区中央 4-25-14 中央ハウス A2

URL <https://zaitakukango12th.com>

第 29 回

日本行動医学会学術総会

日時: 2022 年 12 月 10 日 (土) ~11 日 (日)

会場: 大阪大学大学院人間科学研究科 (大阪大学吹田キャンパス)

テーマ: マルチレベルの行動変容の理論と実践—Individual health から Public health までをつなぐ

プログラム: 会長講演 / シンポジウム / 教育講演 / 一般演題 / 教育研究委員会企画ほか

参加登録期限: 12 月 2 日 (金)

参加登録方法: 下記 URL から

URL <https://jsbm2022.org/registration>

参加費: 会員 8000 円、非会員 9000 円、大学院生 4000 円、学部生 2000 円

※学会運営担当等は後日、下記 Web サイトで告知

URL <https://jsbm2022.org>